

「茨城県原子力総合防災訓練」を9月30日(火)に実施します

村では、9月30日(火)の午前8時30分から午後1時30分まで、平成20年度「茨城県原子力総合防災訓練」を茨城県など共催して実施します■日本原子力発電(株)東海第二発電所で大規模地震災害と原子力災害が発生したとの想定の下、役場・県庁等での災害対策本部設置運営訓練や、笠松運動公園(体育館)を救護所・避難所とする自家用車避難訓練など、13項目の訓練を予定していますので、皆様のご理解をお願いします。

交通規制にご協力ください■笠松運動公園近くの村道「かえで通り」(通称=マラソン道路)の一部区間(約2.3km)で、午前10時30分から1時間程度の交通規制(一方通行)を実施します。この規制中は、一般車両の通行が制限されますので、迂回路として、舟石川小学校前の村道「もみじ通り」をご利用ください。※交通規制は、独立行政法人日本原子力研究開発機構の協力による自家用車を使つての避難訓練に伴つて実施するものです。

実際の事故と誤解しないようご注意ください■住民広報活動訓練として、村の防災行政用無線局(村内62か所の屋外子局と各戸配布の戸別受信機)によるサイレン吹鳴や数回にわたる「随時通信」、茨城県の防災ヘリコプター「つくば」の飛行を予定しています。また、阿漕ヶ浦公園(ホッケー場)では、緊急被ばく医療等訓練のため、陸上自衛隊のヘリコプターが離着陸を行う予定です。

問合せ■東海村経済環境部原子力対策課原子力・防災担当(☎282-1711 内線1519)、茨城県生活環境部原子力安全対策課(☎301-2922) 茨城県ひたちなか西警察署(☎272-0110) ※訓練についてのお知らせは、平成20年9月10日発行の「広報とうかい」(11ページ)にも掲載がありますので、併せてご覧ください。※訓練は、当日までに何らかの災害が発生したとき、または災害発生のおそれがあるときは中止します。

イラストレーション出典:全国消防長会・広報防災委員会



茅根てるさん(103歳) 鎮目春子さん(102歳) 石井なをさん(100歳) 遠藤イワさん(100歳)
藤田はやさん(100歳) 皆川うめさん(100歳) 山本みつさん(100歳)

【注】顔写真については、ご本人またはご家族等の同意が得られた100歳以上の方のみの掲載としました。



東海村と社会福祉法人東海村社会福祉協議会では9月7日、平成20年度「東海村敬老会」を東海文化センターで開催し、村内から招待した75歳以上の方2,938人の長寿を祝い敬いました。

●人生まだこれから…ご長寿お喜び申し上げます

主催者の一人、村上村長は、式典の中で「ご高齢でも元気な方がこの東海村で年々増えていることは心強く、皆さんがいつまでも元気であることは「東海村の活力」となります。村として「国内一の福祉のまち」を目指すためにも、皆さんにより積み上げられてきた豊かな知識や経験を生かした地域づくりを進めていきますので、人生まだこれからのお気持ちで一層のご長寿とお力添えを…」とあいさつ、続いて登壇した社会福祉協議会会長の黒羽根弘一さんも、「誰もが安心して暮らせるための住民主体による地域福祉活動に、皆さんが長年培ってこられた人生経験と英知をお貸しください」と付け加え、敬愛の意を表しました。

今年9月現在、村内の88歳以上の方は503人、うち100歳以上は9人。村松在住で村内最高齢の茅根てるさん(明治39年1月生まれ)は、その帽子姿も愛らしく、村上村長からの「敬老記念品」の手渡しに答えるかのように笑みを浮かべ、村長の手を優しく握り返していました(写真右)。



●日々の活動で高齢者の「仲間づくり」「楽しみの場の提供」

9月5日、第47回「茨城県老人クラブ大会」が県民文化センターで行われ、石神内宿一区高齢者クラブ「寿会」(会長・生田目篤さん)に(財)全国老人クラブ連合会から平成20年度「活動賞」が、「真崎友の会」の坂爪智子さんに(財)茨城県老人クラブ連合会から表彰状が贈られました。「寿会」は、最近5年間で39人の新規会員が加入し、自治会の敬老会や生きがいデイサービスへ協力しながら高齢者の仲間づくりを推進。坂爪さんは、会長として会の運営・推進や村内高齢者のカラオケを通じた楽しみの場の提供に10年以上貢献されてきました。今回の受賞、誠にありがとうございます。



(写真左から)坂爪智子さん、村上村長、生田目篤さん